

2024年度

Webクリエイター科 講義計画集

— 第1学年 —

氏名

.....
船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051
.....

2024年度 (令和6年度) 年間計画表 1W

2024/3/14 現在

前期												後期																							
4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1月		職	1水	水4回	1土		1月	月12回	職	1木			1日			1火	火4回		1金	金8回		1日			1水	元旦		1土			1土				
2火			2木	木4回	2日		2火	火12回		2金			2月			2水	水4回		2土	漢字検定②		2月	月10回		2木			2日			2日				
3水	新入生 オリエンテーション		3金	憲法記念日	3月	月8回	3水	水13回		3土			3火			3木	木3回		3日	文化の日		3火	火12回		3金			3月	月15回		3月	26卒学内合説			
4木			4土	みどりの日	4火	火8回	4木	体育祭 木13回		4日			4水			4金	金4回		4月	振替休日		4水	水12回		4土			4火	火16回		4火				
5金	入学式		5日	こどもの日	5水	水9回	5金	金12回		5月			5木			5土			5火	火8回		5木	木12回		5日			5水	水16回		5水				
6土			6月	振替休日	6木	木9回	6土			6火			6金			6日			6水	水8回		6金	金13回		6月			6木	木17回		6木	卒業生登校日			
7日			7火	月曜振替4回	7金	金8回 駅前C	7日	ジョブパス		7水			7土			7月	月4回		7木	木8回		7土			7火			7金	追試		7金	卒業式			
8月	前期スタート 月1回		8水	水5回	8土	休館日	8月	月13回		8木			8日			8火	火5回		8金	金9回 ひろえぼ船橋		8日			8水	水13回		8土			8土				
9火	火1回		9木	木5回	9日		9火	火13回		9金			9月	後期スタート 月1回	職	9水	水5回		9土	学校見学会		9月	月11回		9木	木13回		9日			9日				
10水	水1回		10金	金4回	10月	月9回	職	10水	水14回		10土			10火	火1回		10木	木4回		10日	色彩検定		10火	26卒就職G		10金	金14回		10月			10月		職	
11木	木1回		11土	休館日	11火	火9回	11木	木14回		11日	山の日		11水	水1回		11金	金5回		11月	月7回		11水	26卒就職G		11土			11火	建国記念の日		11火				
12金	金1回		12日		12水	水10回	12金	金13回		12月	振替休日		12木	木1回		12土			12火	火9回		12木			12日			12水			12水				
13土			13月	月5回	13木	木10回	13土			13火	受付 業務停止		13金	金1回		13日			13水	水9回		13金	Webクリエイター 能力認定試験		13月	成人の日		13木	卒業研究発表会		13木				
14日			14火	火5回	14金	金9回	14日			14水			14土			14月	スポーツの日		14木	木9回		14土			14火	火13回		14金	卒業研究発表会		14金	終業式			
15月	月2回		15水	水6回	15土	県民の日	15月	海の日		15木			15日			15火	火6回	職	15金	金10回		15日			15水	月曜振替12回		15土			15土				
16火	火2回		16木	木6回	16日		16火	火14回		16金			16月	敬老の日		16水	水6回		16土			16月			16木	木14回		16日			16日				
17水	水2回		17金	金5回 25卒就職G	17月	月10回	17水	水15回		17土			17火	火2回		17木	木5回		17日			17火	火15回		17金	金15回		17月	26卒就職G		17月				
18木	木2回		18土		18火	火10回	18木	木15回		18日			18水	水2回		18金	金6回		18月	月8回		18水			18土			18火	26卒Web面接練習		18火				
19金	金2回		19日		19水	水11回	19金	金14回		19月			19木	月曜振替2回 研修合宿		19土			19火	火10回		19木			19日			19水			19水				
20土	休館日		20月	月6回	20木	木11回	20土			20火	単位未取得者 発表		20金	金2回 研修合宿		20日			20水	水10回		20金			20月	月13回	職	20木			20月	春分の日			
21日			21火	火6回	21金	金10回 25卒就職G	21日			21水			21土	学校見学会		21月	月5回		21木	木10回		21土			21火	火14回		21金	在校生単位 未取得者発表		21金				
22月	月3回		22水	水7回	22土		22月	月14回		22木			22日	秋分の日		22火	火7回		22金	金11回		22日			22水	水14回		22土			22土				
23火	火3回		23木	木7回	23日		23火	火15回		23金			23月	振替休日		23水	水7回		23土	勤労感謝の日		23月			23木	木15回		23日	天皇誕生日		23日				
24水	水3回		24金	金6回	24月	月11回	24水	水16回		24土			24火	火3回		24木	木6回		24日			24火			24金	金16回		24月	振替休日		24月				
25木	木3回		25土		25火	火11回	25木	木16回		25日			25水	水3回		25金	金7回		25月	月9回		25水			25土	漢字検定③		25火	26卒就職個人面談	職	25火				
26金	金3回		26日		26水	水12回	26金	金15回		26月			26木	木2回		26土	若幸祭前日準備		26火	火11回		26木			26日			26水	26卒就職個人面談		26水				
27土	休館日		27月	月7回	27木	木12回	27土			27火	再試発表		27金	金3回 25卒就職G		27日	若幸祭		27水	水11回		27金			27月	月14回		27木	球技大会		27木				
28日			28火	火7回	28金	金11回	28日			28水			28土	学校見学会		28月	若幸祭振替休日		28木	木11回		28土			28火	火15回		28金	再試発表		28金				
29月	昭和の日		29水	水8回	29土	漢字検定①	29月	月15回		29木			29日			29火	若幸祭振替休日		29金	金12回		29日			29水	水15回					29土				
30火	火4回		30木	木8回	30日		30火	追試		30金			30月	月3回		30水	水月曜振替6回		30土			30月			30木	木16回					30日				
			31金	金7回			31水			31土						31木	木7回					31火			31金	金17回					31月				

1学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
教育目標と検定スケジュール	6
Web制作演習Ⅰ・Ⅱ	寺原 美由紀	7
Webアプリケーション演習Ⅰ・Ⅱ	山田 博人	9
Webデザイン概論Ⅰ・Ⅱ	三浦 敦史	11
グラフィックソフト演習Ⅰ・Ⅱ	松本 沙耶	13
DTPⅠ・Ⅱ	松本 沙耶	15
情報基礎	山田 博人	17
情報デザイン	寺原 美由紀	18
動画制作演習	山田 博人	19
Office演習Ⅰ・Ⅱ	森廣 永江	20
ビジネス実務	高橋 豊	22
就職講座A	田邊 悦子・遠藤 幹雄	23
就職講座B	山田 博人	24
社会人基礎力Ⅰ・Ⅱ	寺原 美由紀	25

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居 高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいますからです。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@mitsuhashi.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にS～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

S	90以上
A	80～89
B	50～79
C	40～49
D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

GPA(Grade Point Average)

GPAとは、学生の成績の平均値を表したもので学期ごとにGPAを算出する。算出方法は以下の通り科目の評価(S～Dの5段階)に応じて、4.0～0.0の得点(GP)を設定し、科目ごとの得点(GP)に科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を履修科目の総単位数で割り、少数点第二位を四捨五入したものをGPAとする。

なお、GPAを算出するタイミングは各学期の成績発表時点とする。その時点で評価がDの科目のGPは、後日再試験に合格していても0.0となる。

$GPA = \frac{【GP \times 履修科目の単位数】の合計}{履修科目の総単位数}$

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」
※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする
 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

卒業認定

以下の条件に基づき学校長と教職員による卒業判定会議を経て学校長に認められた者について卒業を認定する

- (1) 履修した全ての科目において単位修得していること
- (2) 原則として各年度において年間55日以上欠席がないこと

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡について

クラスの諸連絡、台風や大雪等の休校等の連絡はグループコミュニケーションツールを使用します。(スマートフォンでも使用可能)各自、常に最新の投稿を確認するようにしてください。投稿を確認していない場合、自己責任です。またツールを使用する環境がない場合は担任に申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃(清掃時間を入り口に掲示)が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム(その他ソフト)をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。(卒業研究等、必要な場合を除く)

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやチャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。
また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@mitsuhashi.ac.jp

Webクリエイター科	1年
------------	----

【前期】

科目	Web制作演習 I	分類	専門、必修科目
担当	寺原 美由紀		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	スライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	30%	0%	50%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

HTMLとCSSの基礎知識と、テキストエディタによるコーディング作業を学習する。

2. 授業の目標(検定取得など)

Web制作のフローに沿って、Webサイトを制作する力を身につけると共に、Webクリエイター能力認定試験スタンダードの資格取得を目指す。

3. 注意点・要望

コーディングのルールを守り、見やすいHTML・CSSファイルにしましょう。また、課題の提出期限を守りましょう。

4. 関連科目

Webデザイン概論、グラフィックソフト演習、Webアプリケーション演習

週	テーマ	内容
1	Web・HTMLの概要	講義計画の説明、テキストエディタの設定、Webの仕組み、HTML文書の構造とタグの書き方
2	HTML文書の作成(1)	HTMLによるマークアップ 各種要素の使い方
3	HTML文書の作成(2)	〃
4	CSSの概要／CSSによる装飾(1)	CSSの基本書式、各種プロパティとセレクタの使い方
5	CSSの概要／CSSによる装飾(2)	〃
6	課題制作 ～好きなテーマ～(1)	これまでに学んだ内容で簡単なページを制作する
7	課題制作 ～好きなテーマ～(2)	〃
8	構造を作るHTML	セクショニングコンテンツに含まれるHTML要素について
9	課題制作 ～設計に沿って～(1)	設計通りにページを作成する
10	課題制作 ～設計に沿って～(2)	設計通りにページを作成する
11	ランディングページ ワイヤーフレーム	ランディングページの特徴について、ワイヤーフレームの制作
12	Web素材の作成	デザインツールからの画像書き出し方法
13	課題制作 ～企業依頼LP～(1)	コンセプトの設定
14	課題制作 ～企業依頼LP～(2)	Webページ作成
15	課題制作 ～企業依頼LP～(3)	Webページ作成
16	前期試験期間	

備考	
----	--

科目	Web制作演習Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	寺原 美由紀		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	スライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	30%	0%	50%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

HTMLとCSSの基礎知識と、テキストエディタによるコーディング作業を学習する。

2. 授業の目標(検定取得など)

Web制作のフローに沿って、Webサイトを制作する力を身につけると共に、Webクリエイター能力認定試験スタンダードの資格取得を目指す。

3. 注意点・要望

コーディングのルールを守り、見やすいHTML・CSSファイルにしましょう。また、課題の提出期限を守りましょう。

4. 関連科目

Webデザイン概論、グラフィックソフト演習、Webアプリケーション演習

週	テーマ	内容
1	アプリケーション要素	フォーム内の各種要素と属性について
2	その他レイアウト方法(1)	カラムレイアウト、グリッドレイアウト
3	その他レイアウト方法(2)	positionプロパティによる相対配置、絶対配置
4	フォーム画面	input要素の各種タイプについて
5	head要素	head要素内に記述する各種要素について説明
6	課題制作 ～複数ページ～(1)	各自好きなテーマで、複数ページからなるWebサイトを作成する ターゲットの設定、コンテンツの検討
7	課題制作 ～複数ページ～(2)	サイトマップ作成
8	課題制作 ～複数ページ～(3)	ワイヤーフレーム作成
9	課題制作 ～複数ページ～(4)	デザインカンパ作成
10	課題制作 ～複数ページ～(5)	デザインカンパ作成
11	課題制作 ～複数ページ～(6)	クラスの命名について、Webページ作成
12	Web能力認定試験対策(1)	試験概要、問題解説、Webページ作成
13	Web能力認定試験対策(2)	模擬問題演習、Webページ作成
14	課題制作 ～複数ページ～(7)	Webページ作成
15	課題制作 ～複数ページ～(8)	Webページ作成
16	課題制作 ～複数ページ～(9)	Webページ作成
17	後期試験期間	

備考

Webクリエイター科	1年
------------	----

【前期】

科目	Webアプリケーション演習 I	分類	専門、必修科目
担当	山田 博人		
テキスト (出版社)	確かな力が身につくJavaScript「超」入門(SB Creative)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	40%	0%	30%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

VisualStudioCodeを使って、JavaScriptの知識と技術を習得し、活用できるようにします。

2. 授業の目標(検定取得など)

JavaScriptの基礎的な知識と技術を理解する。また、それらをWebサイトやアプリケーション制作に活用できるようにする。

3. 注意点・要望

授業内で課題が毎回出るので休まないこと。わからないことは必ず放課後に確認をすること。初めから得意な人などいないので地道に少しずつ成長を目指して下さい。

4. 関連科目

Web制作演習

週	テーマ	内容
1	ガイダンス chapter1 イン트로ダクション	これから学習する内容について 成績基準について 環境整備
2	chapter2 アウトプットの基本	コンソールに出力 JavaScriptの書き方を学ぶ
3	chapter2 アウトプットの基本	ダイアログボックスの表示 HTMLを書き換える
4	chapter3 JavaScriptの文法	変数と定数を覚える
5	chapter3 JavaScriptの文法	条件分岐Ifを習得する
6	chapter3 JavaScriptの文法	演算子を使った簡単な数当てゲームを作成する
7	chapter3 JavaScriptの文法	論理演算子を使って条件式をスマートにする
8	chapter3 JavaScriptの文法	くり返しのforとwhileを学ぶ
9	chapter3 JavaScriptの文法	くり返しが終わらない
10	chapter3 JavaScriptの文法	functionを覚えよう 結構大変です
11	chapter3 JavaScriptの文法	functionを応用してちょっとしたゲームを作ってみよう
12	chapter3 JavaScriptの文法	難関 配列 について学びましょう これも大変です
13	chapter3 JavaScriptの文法	続 配列を学びます 前回の内容の続きなのでお休みした人は自習必須
14	chapter3 JavaScriptの文法	最難関 オブジェクトについて学ぼう これができれば怖いものなし
15	chapter3 JavaScriptの文法	続 オブジェクトについて学ぼう 1年生前期の集大成
16	前期試験期間	

備考	
----	--

科目	Webアプリケーション演習Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	山田 博人		
テキスト (出版社)	確かな力が身につくJavaScript「超」入門(SB Creative)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	40%	0%	30%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

VisualStudioCodeを使って、JavaScriptの知識と技術を習得し、活用できるようにします。

2. 授業の目標(検定取得など)

前期で学んだ知識を活用して、様々なアプリケーションの制作します。またWebサイトへの活用も少しずつしていきます。最終的にポートフォリオへの掲載できるものを作成できるようにしましょう。

3. 注意点・要望

授業内で課題が毎回出るので休まないこと。わからないことは必ず放課後に確認をすること。初めから得意な人などいないので地道に少しずつ成長を目指して下さい。

4. 関連科目

Web制作演習

週	テーマ	内容
1	chapter4 インプットとデータ加工	フォームの入力内容を取得して出力してみよう
2	chapter4 インプットとデータ加工	Dateオブジェクトを利用して日時を表示してみる
3	chapter4 インプットとデータ加工	Mathオブジェクトを利用して小数第〇位で切り捨てる
4	chapter5 一歩進んだテクニック	カウントダウンタイマーを作成して応用してみよう
5	chapter5 一歩進んだテクニック	プルダウンメニューで指定ページへ
6	chapter5 一歩進んだテクニック	イメージの切り替えで画像を切り替える
7	chapter5 一歩進んだテクニック	スライドショーを作ってみる
8	chapter6 jQuery入門	開閉するナビゲーションメニュー
9	chapter6 jQuery入門	ドロワーを作ってみよう
10	chapter7 外部データを利用する	位置情報を取得して確認しよう あなたは今どこにいるの??
11	chapter7 外部データを利用する	位置情報を取得して確認しよう あなたは今どこにいるの??
12	chapter7 外部データを利用する	Web APIを使ってみよう
13	chapter7 外部データを利用する	Web APIを使ってみよう
14	chapter7 外部データを利用する	Web APIを使ってみよう
15	課題	
16	課題	
17	後期試験期間	

備考

Webクリエイター科	1年
------------	----

【前期】

科目	Webデザイン概論 I	分類	専門、必修科目
担当	三浦 敦史		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	授業でのスライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	40%	0%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

Webデザインの基礎知識や、グラフィックアプリケーションと制作技術について学ぶ。

2. 授業の目標(検定取得など)

基礎知識と技術を習得し、グラフィック作品やWebサイトの制作に活かす。

3. 注意点・要望

要点を考え、メモを取る力を身につけてください。

4. 関連科目

グラフィックソフト演習、Web制作演習、Webアプリケーション演習

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション	年間予定と学習内容、Web制作に必要な知識、仕事としてのWebデザインとは？
2	色の知識	色の構造・仕組み、Webデザインとして色を扱う場合の注意
3	色と印象	色と印象の関係、色と形の役割の違い
4	デザインのための基礎知識	印象に影響する要因と視覚調整
5	視覚情報の分類とデザインへの応用(1)	形と印象、面積差と視線誘導、形の構成要素
6	視覚情報の分類とデザインへの応用(2)	視覚的階層、大きさ、色、距離、配置、繰り返し、対比
7	デザインのための基礎知識(1)	文字揃えを基準としてレイアウトを考える
8	デザインのための基礎知識(2)	視線誘導の3つのパターン
9	Webデザインについて(1)	要素の分類とWebブラウザの表示
10	Webデザインについて(2)	HTMLの基礎知識、CSSの基本知識
11	Webデザインについて(3)	CSSレイアウトの考え方と作り方
12	Webデザインについて(4)	Emmetを利用したコーディング
13	CSSレイアウト(1)	float属性、CSS Grid、Flexbox
14	CSSレイアウト(2)	float属性、CSS Grid、Flexbox
15	ホバーアニメーション	UXを意識した効果的なホバーアニメーション技術
16	前期試験期間	

備考	デジタルハリウッド講師、またWebディレクション、制作技術支援、企画開発コンサルティング業務などに携わる
----	--

科目	Webデザイン概論Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	三浦 敦史		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	授業でのスライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	40%	0%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

Illustrator・Photoshopの応用技術、Webリテラシー、HTML・CSSの現場における技術について演習を交えて学ぶ。

2. 授業の目標(検定取得など)

HTMLマークアップ、CSSレイアウトについて学び、さまざまなWebサイト制作に対応できる技術を習得する。

3. 注意点・要望

要点を考え、メモを取る力を身につけてください。

4. 関連科目

グラフィックソフト演習、Web制作演習、Webアプリケーション演習

週	テーマ	内容
1	Photoshopの基礎知識	描画形式の違い、解像度
2	画像補正(1)	色相の変更、部分補正と修復
3	画像補正(2)	明度・彩度・色相の補正、人物レタッチ
4	Photoshopの基礎知識(1)	明暗補正、色調補正、色調効果
5	Photoshopの基礎知識(2)	トーンカーブ
6	Photoshopの基礎知識(3)	調整レイヤーとスマートフィルター
7	Photoshopの基礎知識(4)	選択範囲とマスク
8	Photoshopの基礎知識(5)	ぼかしを利用した輪郭の抽出
9	Photoshopの基礎知識(6)	マッピング、パースペクティブ
10	Photoshopの基礎知識(7)	デザインカンパ作成時のグリッドについて
11	Webにおける画像サイズ	論理サイズ、物理サイズ、Viewportサイズ
12	Illustratorの基礎知識(1)	形の組み合わせ、図形を組み合わせで別の図形を作る
13	Illustratorの基礎知識(2)	パスファインダーによる図形の分解と別の図形の作成
14	Illustratorの基礎知識(3)	エンベロープ機能を利用した図形の描画と変形
15	Illustratorの基礎知識(4)	ブレンド機能を利用した図形描画(奥行き感、立体感の表現方法)
16	Illustratorの基礎知識(5)	SVG画像のコード書き出し
17	後期試験期間	

備考

デジタルハリウッド講師、またWebディレクション、制作技術支援、企画開発コンサルティング業務などに携わる

Webクリエイター科	1年
------------	----

【前期】

科目	グラフィックソフト演習 I	分類	専門、必修科目
担当	松本 沙耶		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	デジタルハリウッド資料、動画		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	65%	0%	0%	35%	100%		

1. 授業の概要

デジタルハリウッドの教材を使用し、IllustratorとPhotoshopによる画像処理を学ぶ。

2. 授業の目標(検定取得など)

グラフィックソフトの使い方をマスターし、課題提出およびデジタルハリウッド講師による添削指導を受けて作品制作を行う。

3. 注意点・要望

課題提出期間を厳守すること。講評を受け、次回作品に生かすこと。

4. 関連科目

DTP、Webデザイン概論

週	テーマ	内容
1	Illustratorの基本操作	Illustratorの起動と基本画面、拡大縮小、保存
2	描画ツールでの描画	「塗り」と「線」の設定、図形ツールでの描画、整列
3	ペンツールでの描画	ペンツールでの描画、パス、グラデーション
4	レイヤー	レイヤーについて
5	Illustratorでの文字の入力	トリムマークの制作、定規やガイドの設定、文字の入力
6	オブジェクトの変形	リフレクト、自由変形ツール、クリッピングマスク
7	線の設定とアピアランス	線ツール、アピアランス
8	Photoshopの基本操作	Photoshopの起動と基本画面、拡大縮小、保存
9	画像の補正	選択範囲、マスク、色の補正
10	画像の補正、画像の加工	スタンプツール、グラデーション
11	画像の加工	フィルター、クリッピングマスク
12	課題制作(1)	課題説明、コンセプトやターゲット設定、ラフスケッチについて
13	課題制作(2)	与えられたテーマに沿ってフライヤー課題を制作する
14	課題制作(3)	与えられたテーマに沿ってフライヤー課題を制作する
15	課題制作(4)	与えられたテーマに沿ってフライヤー課題の制作、提出について
16	前期試験期間	

備考	各種グラフィック・デザイナー業務実績をもとに授業を行う
----	-----------------------------

科目	グラフィックソフト演習Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	松本 沙耶		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	デジタルハリウッド資料、動画		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	65%	0%	0%	35%	100%		

1. 授業の概要

デジタルハリウッドの教材をから学んだ技術を生かし制作する。

2. 授業の目標(検定取得など)

グラフィックソフトの使い方をマスターし、課題提出およびデジタルハリウッド講師による添削指導を受けて作品制作を行う。

3. 注意点・要望

課題提出期間を厳守すること。講評を受け、次回作品に生かすこと。

4. 関連科目

DTP、Webデザイン概論

週	テーマ	内容
1	Photoshopでの文字の入力	ガイド、文字ツール、テキストボックス
2	課題制作 中級(1)	課題説明、コンセプトやターゲット設定、ラフスケッチ
3	課題制作 中級(2)	前回の反省を踏まえIllustrator、Photoshopを駆使し課題を制作する
4	課題制作 中級(3)	前回の反省を踏まえIllustrator、Photoshopを駆使し課題を制作する
5	課題制作 中級(4)	前回の反省を踏まえIllustrator、Photoshopを駆使し課題を制作する
6	課題制作 中級(5)	課題の制作、提出について
7	課題制作 上級 両面印刷・折り(1)	課題説明、コンセプトやターゲット設定、ラフスケッチ
8	課題制作 上級 両面印刷・折り(2)	両面印刷、折り加工、写真や文字情報の多いリーフレット課題を制作する
9	課題制作 上級 両面印刷・折り(3)	両面印刷、折り加工、写真や文字情報の多いリーフレット課題を制作する
10	課題制作 上級 両面印刷・折り(4)	両面印刷、折り加工、写真や文字情報の多いリーフレット課題を制作する
11	課題制作 上級 両面印刷・折り(5)	両面印刷、折り加工、写真や文字情報の多いリーフレット課題を制作する
12	課題制作 上級 両面印刷・折り(6)	課題の制作、提出について
13	作品制作(1)	作品作り、コンテストに挑戦する
14	作品制作(2)	作品作り、コンテストに挑戦する
15	作品制作(3)	作品作り、コンテストに挑戦する
16	ポートフォリオ制作について	今まで学習したことを踏まえ、ポートフォリオ用に作品を整理する
17	後期試験期間	

備考

各種グラフィック・デザイナー業務実績をもとに授業を行う

Webクリエイター科	1年
------------	----

【前期】

科目	DTP I	分類	専門、必修科目
担当	松本 沙耶		
テキスト (出版社)	新版DTPベーシックガイドンス(公益社団法人日本印刷技術協会)		
参考資料	授業内で配布するプリントなど		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	45%	0%	35%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

印刷についての基礎知識を身につける。

2. 授業の目標(検定取得など)

印刷、DTPとは何か理解しデータを制作できるようになる。

3. 注意点・要望

各自ノート作成を行うこと、課題提出期間を厳守すること。

4. 関連科目

グラフィックソフト演習

週	テーマ	内容
1	DTPのはじまり	DTPとは何か、歴史について
2	基礎知識(1)	紙について
3	紙・文字・色についての実習	文字や色の与える印象についての実習
4	基礎知識(2)	レイアウトについて
5	レイアウトについての実習	様々なレイアウトについての実習
6	基礎知識(3)	画像について
7	基礎知識(4)	画質、解像度について
8	基礎知識(5)	画像形式について
9	レイアウト・画像についての実習	レイアウトや画像形式についての実習
10	基礎知識(6)	印刷に適した色について
11	基礎知識(7)	オフセット印刷などの印刷方式について
12	制作と進め方	サムネイル、ラフスケッチ制作について
13	作品制作(1)	実際に印刷される事を想定した課題を制作する
14	作品制作(2)	実際に印刷される事を想定した課題を制作する
15	作品制作(3)	実際に印刷される事を想定した課題を制作する
16	前期試験期間	

備考	各種グラフィック・デザイナー業務実績をもとに授業を行う
----	-----------------------------

科目	DTP II	分類	専門、必修科目
担当	松本 沙耶		
テキスト (出版社)	新版DTPベーシックガイドンス(公益社団法人日本印刷技術協会)		
参考資料	授業内で配布するプリントなど		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	65%	0%	0%	35%	100%		

1. 授業の概要

印刷についてのより高度な知識を身につける。

2. 授業の目標(検定取得など)

適切な印刷知識に則り、様々な印刷物を制作できるようになる。

3. 注意点・要望

課題提出期間を厳守すること。また、積極的にブラッシュアップも行うこと。

4. 関連科目

グラフィックソフト演習

週	テーマ	内容
1	基礎知識(8)	オフセット印刷などの印刷方式について
2	基礎知識(9)	製本方法、面付について
3	基礎知識(10)	折り、表面加工、特殊加工について
4	制作環境	印刷に関わるハード、ソフトウェアについて
5	素材を考えた作品制作(1)	印刷される素材をよく考え、課題を制作する
6	素材を考えた作品制作(2)	印刷される素材をよく考え、課題を制作する
7	ポートフォリオ制作(1)	ポートフォリオを制作するにあたって
8	ポートフォリオ制作(2)	ポートフォリオのページ構成を考える
9	ポートフォリオ制作(3)	ポートフォリオのテンプレートを制作する
10	ポートフォリオ制作(4)	ポートフォリオのプロフィールページの制作
11	ポートフォリオ制作(5)	今までの作品をまとめ、ポートフォリオを制作する
12	ポートフォリオ制作(6)	今までの作品をまとめ、ポートフォリオ第一弾を完成させる
13	ポートフォリオ制作(7)	内容をまとめなおし、クオリティの高いポートフォリオに編集する
14	ポートフォリオ制作(8)	内容をまとめなおし、クオリティの高いポートフォリオに編集する
15	ポートフォリオ制作(9)	内容をまとめなおし、クオリティの高いポートフォリオに編集する
16	ポートフォリオ制作(10)	表紙の制作、書き出し方についての説明
17	後期試験期間	

備考

各種グラフィック・デザイナー業務実績をもとに授業を行う

Webクリエイター科	1年
------------	----

【前期】

科目	情報基礎	分類	専門、必修科目
担当	山田 博人		
テキスト (出版社)	でる順×分野別 漢検問題集(旺文社) かんたん合格 ITパスポート 教科書&必須問題(インプレス)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	30%	0%	0%	30%	20%	20%	100%		

- 1. 授業の概要**
各検定試験の合格に向け、検定の対策を実施する。
また、小テストなどを都度実施することで振り返りを行えるようにする。
- 2. 授業の目標(検定取得など)**
情報検定(J検)情報活用3級・漢字検定など、デザイン系以外の基本検定取得を目指す。
- 3. 注意点・要望**
資格を2種類取得するので座学が中心となります。過去問題演習をしっかりとしていきます。
漢字検定については受験する級によって内容が少し異なる可能性があります。
- 4. 関連科目**

週	テーマ	内容
1	情報基礎(1) 漢字検定(1)	情報基礎:基礎知識編 漢字検定:読み
2	情報基礎(2) 漢字検定(2)	情報基礎:基礎知識編 漢字検定:部首
3	情報基礎(3) 漢字検定(3)	情報基礎:基礎知識編 漢字検定:同音・同訓異字
4	情報基礎(4) 漢字検定(4)	情報基礎:ネットワーク編 漢字検定:熟語の構成
5	情報基礎(5) 漢字検定(5)	情報基礎:ネットワーク編 漢字検定:対義語・類義語
6	情報基礎(6) 漢字検定(6)	情報基礎:ネットワーク編 漢字検定:送り仮名
7	漢字検定対策(1)	漢字検定:四字熟語 過去問題演習
8	漢字検定対策(2)	漢字検定:誤字訂正 過去問題演習
9	漢字検定対策(3)	漢字検定:書き取り 過去問題演習
10	漢字検定対策(4)	過去問題演習
11	情報基礎(7)	情報基礎:情報社会編
12	情報基礎(8)	情報基礎:情報社会編
13	情報基礎(9)	過去問題演習
14	情報基礎(10)	過去問題演習
15	情報基礎(11)	過去問題演習
16	前期試験期間	

備考	
----	--

科目	情報デザイン	分類	専門、必修科目
担当	寺原 美由紀		
テキスト (出版社)	必ず合格！色彩検定3級 公式テキスト解説&問題集 2024年度版 (MdN) 改訂版 J検情報デザイン完全対策公式テキスト (JMAM)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	0%	40%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

色彩検定3級の内容を学ぶことにより色彩の知識を身につける。
情報をデザインする技術を学び、制作物のレイアウトや表現に役立てる。

2. 授業の目標(検定取得など)

色彩検定3級の取得、および情報検定(J検)情報デザイン初級の取得を目指す。

3. 注意点・要望

資格取得を目標に、Webクリエイターとして必要な情報デザインや色彩の知識を身につけ、作品に活かすこと。

4. 関連科目

Web制作演習、グラフィックソフト演習、DTP

週	テーマ	内容
1	光と色	眼のしくみ、照明と色の見え方、混色
2	色の表示	色の分類と三属性、PCCS
3	色彩心理	色の心理効果、色の視覚効果
4	色彩調和	配色技法
5	配色イメージ	色の三属性と配色
6	ファッション	ファッションにおけるカラーコーディネーション
7	インテリア	インテリアにおけるカラーコーディネーション
8	色彩検定対策(1)	問題演習と解説
9	色彩検定対策(2)	問題演習と解説
10	色彩検定対策(3)	問題演習と解説
11	情報デザインの考え方	情報とコミュニケーション、情報デザインの活用、作業とプロセス
12	情報の収集と整理	調査の目的、調査手法、分析と整理、ペルソナとシナリオ
13	問題解決と発想	問題の捉え方、問題解決の手順、問題解決手法の選択
14	情報の構造化と表現	情報構造の種類
15	情報の伝達と評価	伝える目的、評価の目的
16	情報デザイン検定対策	問題演習と解説
17	後期試験期間	

備考

科目	動画制作演習	分類	専門、必修科目
担当	デジハリ動画講師・山田 博人		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	デジタルハリウッド資料、動画		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	70%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

デジタルハリウッドの教材を利用してPremiereProとAfterEffectsによる動画制作技術を磨く。

2. 授業の目標(検定取得など)

動画編集ソフトを使いこなし目的の動画を制作できるようにする。

3. 注意点・要望

成績の大半を課題で占めているので提出期限は厳守してください。

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	利用ソフトの説明と課題提出方法の確認
2	chapter1 風景動画を制作	東京の夜の風景動画を作ります
3	chapter1 風景動画を制作	完成した人は自身の地元の動画を作きましょう
4	chapter2 お料理動画の制作	お料理動画を切り抜きをして約30分の動画を1分にします
5	chapter2 お料理動画の制作	お料理動画を切り抜きをして約30分の動画を1分にします
6	chapter2 お料理動画の制作	完成した人は自身で料理動画などを撮影して動画を作きましょう
7	chapter3 FJBロゴのアニメーション制作	FJBのロゴを使って動きを付けた動画を作ります
8	chapter3 FJBロゴのアニメーション制作	FJBのロゴを使って動きを付けた動画を作ります
9	chapter3 FJBロゴのアニメーション制作	完成した人はさらなるクオリティUPに挑戦しましょう
10	chapter4 3Dと2Dの融合動画制作	現実世界の動画に2Dの文字を浮かび上がらせます
11	chapter4 3Dと2Dの融合動画制作	現実世界の動画に2Dの文字を浮かび上がらせます
12	chapter4 3Dと2Dの融合動画制作	完成した人はオリジナル作品を作きましょう
13	chapter5 ゆっくり実況動画制作	別のアプリケーションを利用して自己紹介動画を作ってみましょう
14	chapter5 ゆっくり実況動画制作	別のアプリケーションを利用して自己紹介動画を作ってみましょう
15	chapter5 ゆっくり実況動画制作	完成した人はさらなるクオリティUPに挑戦しましょう
16	前期試験期間	

備考

Webクリエイター科	1年
------------	----

【前期】

科目	Office演習 I	分類	専門、必修科目
担当	森廣 永江		
テキスト (出版社)	Microsoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト& 問題集 (FOM出版)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	30%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す
2. 授業の目標(検定取得など)
マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel2019
3. 注意点・要望
<ul style="list-style-type: none"> ・単に操作を覚えるのではなく、必要な場面で使える様に知識の定着を図ること ・毎回テキストを忘れないようにすること
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	MOS試験について、成績評価について、環境の確認、EXCELの基本
2	Excel2019 演習1	セルやセル範囲のデータの管理1
3	Excel2019 演習2	セルやセル範囲のデータの管理2
4	Excel2019 演習3	セルやセル範囲のデータの管理3
5	Excel2019 演習4	出題範囲2 確認問題
6	Excel2019 演習5	ワークシートやブックの管理1
7	Excel2019 演習6	ワークシートやブックの管理2
8	Excel2019 演習7	ワークシートやブックの管理3
9	Excel2019 演習8	出題範囲1 確認問題
10	Excel2019 演習9	テーブルとテーブルのデータの管理1
11	Excel2019 演習10	テーブルとテーブルのデータの管理2
12	Excel2019 演習11	テーブルとテーブルのデータの管理3
13	Excel2019 演習12	出題範囲3 確認問題
14	Excel2019 演習13	数式や関数を使用した演算の実行1
15	Excel2019 演習14	数式や関数を使用した演算の実行2
16	前期試験期間	

備考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。
----	---

科目	Office演習Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	森廣 永江		
テキスト (出版社)	Microsoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト& 問題集 (FOM出版)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	0%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す

2. 授業の目標(検定取得など)

マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel2019

3. 注意点・要望

- ・繰り返し問題演習を行うこと
- ・毎回テキストを忘れないようにすること

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	Excel2019 演習1	数式や関数を使用した演算の実行3
2	Excel2019 演習2	出題範囲4 確認問題
3	Excel2019 演習3	グラフの管理1
4	Excel2019 演習4	グラフの管理2
5	Excel2019 演習5	グラフの管理3
6	Excel2019 演習6	出題範囲5 確認問題
7	Excel2019 演習7	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策1
8	Excel2019 演習8	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策2
9	Excel2019 演習9	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策3
10	Excel2019 演習10	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策4
11	Excel2019 演習11	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策5
12	Excel2019 演習12	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策6
13	Excel2019 演習13	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策7
14	Excel2019 演習14	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策8
15	Excel2019 演習15	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策9
16	Excel2019 演習16	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策10
17	後期試験期間	

備考

システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。

Webクリエイター科	1年
------------	----

【前期】

科目	ビジネス実務	分類	教養、必修科目
担当	高橋 豊		
テキスト (出版社)	2024年度版 ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	70%	0%	0%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
社会人にとって必要な仕事・人間関係・マナーなどのビジネス能力の基礎を学び、実務に即した知識技能を身につける。
2. 授業の目標(検定取得など)
ビジネス能力検定ジョブパス3級
3. 注意点・要望
プリント・資料を多く配布するので、きちんとファイリングすること。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	導入・概要 仕事と社会人としての意識	ビジネス実務と授業の概要を把握する。 仕事への取り組み方を学び、社会人を意識する。
2	ビジネスマナー	お辞儀、挨拶、身だしなみなどのビジネスマナーについて学び、 実践できるようにする。
3	仕事の基本	仕事の基本姿勢である8つの意識を考察し、仕事の理解を深める。
4	仕事への取り組み	業務の流れを知り、効率的な仕事の進め方を理解する。
5	指示・報告・連絡・相談	指示の受け方と報告や連絡、相談のポイントとそのやり方を学ぶ。
6	業務とスケジュール管理	業務とマニュアルの効果について理解し、 スケジュール管理や情報の整理法を学ぶ。
7	話し方と聞き方、敬語	ビジネスにふさわしい話し方、言葉遣いを敬語の使い方と共に学ぶ。
8	情報収集とメディア	新聞やインターネットなど、さまざまなメディアから情報収集力を養う。
9	統計データの読み方	データの読み方とまとめ方を学び、その分析力を養う。
10	ビジネス用語	基本的なビジネス用語を理解し、社会で生かせるようにする。
11	検定対策(1)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う。
12	検定対策(2)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う。
13	検定対策(3)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う。
14	ビジネス文書(1)	ビジネス文書が果たす役割に関して考察する。 ビジネス文書の種類とその特徴を理解する。
15	ビジネス文書(2)	社外社内各文書の特徴を理解し、その書き方を学ぶ。
16	ビジネスケース まとめ	様々なビジネスケースを学び、問題を解決してゆく。 まとめ。

備考	
----	--

Webクリエイター科	1年
------------	----

【後期】

科目	就職講座A	分類	教養、必修科目
担当	田邊 悦子・遠藤 幹雄		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	30%	40%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
就職活動の流れを知り、自己分析や企業研究ができる力を身につける 内定をいただくためにやるべきこと、必要なことを考える
2. 授業の目標(検定取得など)
①社会人としての伸びしろが感じられる自己PRの完成 ②企業を選びに必要な視点の整理 ③就職活動における基本マナーの習得
3. 注意点・要望
授業課題は、①履歴書 ②メール ③面接対策シート ④イベントのレポート で評価 就職活動は教室で完結するものではないので、実際の活動(イベントへの参加)も授業の一環として進めていきます
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	就職活動の流れ	ともに働きたい人、新卒の就職活動、新卒採用の特権、就職活動スケジュール 授業の目的、就職指導室の利用、Teamsの利用、学科担当教員の紹介
2	企業が求める人物像	グループディスカッションのポイントと実践、専門学校生の武器 就職活動用フォルダ作成
3	内定までの流れ&エントリーの準備	内定までの流れ、就職活動支援サイト、自己分析 求人票検索システムの使い方①、就職活動時の手続き
4	企業とのやりとり	主な提出書類、方法、注意事項、メールの基本、電話の基本
5	履歴書の作成	書き方のポイント、企業への提出方法、学校指定フォーマットでの履歴書作成
6	企業研究のポイント(1)	業種動向、企業の取引形態、職種とは、業界・企業研究の資料、企業名称
7	企業研究のポイント(2)	求人票、自己申告書・青少年雇用情報シート、自己申告書
8	企業研究のポイント(3)	Slerの分類、Slerの職種、IT系以外の職種
9	面接対策(1)	メラビアン法の法則、ハロー効果、面接対策シートの作成、Web面接に必要な準備
10	面接対策(2)	挨拶の基本、身だしなみ、Web面接対策動画の視聴
11	面接対策(3)	面接試験の種類、面接の流れと評価のポイント、面接試験前・本番・終了後 Web面接練習の準備(面接対策シートの活用)
12	求職登録、就活支援サイトの活用 学校求人の確認	就職先の希望、必要となる条件等のアンケート、2025卒向け求人票の確認 就活支援サイト「マイナビ」の使い方、志望動機のポイント
13	目指す方向性 これまでの準備と成果物の確認	目指す社会人像・エンジニア像、就職活動の方向性 履歴書・自己PR・ガクチカのブラッシュアップ(面接対策シートの活用)
14	志望動機の作成	企業研究の目的とポイント、企業研究と併せて必要なこと
15	春休み期間中の活動に向けて	学校求人の活用方法(システム、チラシ、指導室応募求人) 今後の就活イベントの案内、面接練習
16	後期試験期間	
17		

備考	IT関連の業務経験と就職指導経験のある職員(職業紹介責任者)が、その経験に基づいて、就職活動全般及び個別の事例について、講義と指導を行う
----	--

科目	就職講座B	分類	教養、必修科目
担当	山田 博人		
テキスト (出版社)	2026年度版 大事なことだけ！ SPI(永岡書店) これが本当のCAB・GABだ！ 2026年度版【Web-CAB・IMAGES対応】(本当の就職テスト)(講談社)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	20%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

就職活動に必要な、文章力・対話力・読解力・計算力など、社会に出てから必要となる基礎を学習する。
SPI・CAB・GABの試験対策をメインに行っていく。

2. 授業の目標(検定取得など)

試験対策をしっかりと実施することで就職活動をスムーズに行えるようにする。
毎回小テストを実施するので、公欠などで欠席が生じた場合は、次の授業までに範囲のテストを終えておくこと。

3. 注意点・要望

苦手を苦手のままにせず少しずつでも良いので日々成長していきましょう。

4. 関連科目

就職講座A

週	テーマ	内容
1	SPI対策(1)	数表・図表 推理
2	SPI対策(2)	順列・組み合わせ 確率
3	SPI対策(3)	速さ 集合 料金の割引
4	SPI対策(4)	割合 売買損益
5	SPI対策(5)	鶴亀算 仕事算 年齢算
6	SPI対策(6)	SPI 確認小テスト
7	CABGAB対策(1)	命令表と暗号
8	CABGAB対策(2)	命令表と暗号
9	CABGAB対策(3)	暗号と言語
10	CABGAB対策(4)	暗号と言語
11	CABGAB対策(5)	計数と英語
12	SPI 効果測定	模試を実施
13	SPI 効果測定	模試を実施
14	SPI 効果測定	模試を実施
15	CABGAB 効果測定	模試を実施
16	SPI 効果測定	模試を実施
17	後期試験期間	

備考

Webクリエイター科	1年
------------	----

【前期】

科目	社会人基礎力 I	分類	教養、必修科目
担当	寺原 美由紀		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事の運営により養う。
就職活動に向け自己分析を行い、履歴書の作成や面接対策を行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

社会人になるということを考え、主体的に物事に取り組む力を付ける。

3. 注意点・要望

提出物の期限を守りましょう。

4. 関連科目

ビジネス関連科目全般

週	テーマ	内容
1	人生設計とキャリアデザイン(1)	人生設計を考える
2	人生設計とキャリアデザイン(2)	キャリアデザインを考える
3	社会人の心構え(1)	多様な人々との協力 役割を果たして貢献する
4	社会人の心構え(2)	社会人基礎力とは
5	ボランティア活動	ひろえば船橋が好きになる運動の一環で地域の美化活動を行う
6	前に踏み出す力(1)	主体性:物事に進んで取り組む
7	前に踏み出す力(2)	働きかけ力:他人に働きかけ巻き込む力
8	前に踏み出す力(3)	実行力:目的を設定し確実に行動する力
9	前に踏み出す力(4)	学園祭プロジェクトを立ち上げる
10	前に踏み出す力(5)	プロジェクトの目標を理解する
11	前に踏み出す力(6)	プロジェクトメンバーをリードする、助ける
12	考え抜く力(1)	課題発見力:現状を分析し目的や課題を明らかにする
13	考え抜く力(2)	計画力:課題の解決に向けたプロセスを明らかにする
14	考え抜く力(3)	創造力:新しい価値を生み出す力
15	考え抜く力(4)	データを集めて現状を観察する
16	前期試験期間	

備考	
----	--

Webクリエイター科	1年
------------	----

【後期】

科目	社会人基礎力Ⅱ	分類	教養、必修科目
担当	寺原 美由紀		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事の運営により養う。
就職活動に向け自己分析を行い、履歴書の作成や面接対策を行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

社会人になるということを考え、主体的に物事に取り組む力を付ける。

3. 注意点・要望

提出物の期限を守りましょう。

4. 関連科目

ビジネス関連科目全般

週	テーマ	内容
1	チームで働く力(1)	発信力: 自分の意見をわかりやすく伝える
2	チームで働く力(2)	傾聴力: 相手の意見を丁寧に聴く力
3	チームで働く力(3)	柔軟性: 意見の違いや立場の違いを理解する力
4	チームで働く力(4)	状況把握力: 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
5	チームで働く力(5)	規律性: 社会のルールや人との約束を守る力
6	チームで働く力(6)	ストレスコントロール力: ストレスの発生源に対応する力
7	チームで働く力(7)	実践: 学園祭の運営
8	チームで働く力(8)	振り返り
9	就職活動に向けて 自己分析(1)	自分自身を振り返ってみよう
10	就職活動に向けて 自己分析(2)	過去の自分を分析してみよう
11	就職活動に向けて 自己分析(3)	現在の自分を分析してみよう
12	就職活動に向けて 自己分析(4)	あなたの価値観とは、価値観から導き出す自分のタイプ
13	就職活動に向けて 自己分析(5)	自分の長所を発見しよう
14	自己PR	これまでの自己分析をふまえ、自己PRを完成させる
15	ガクチカ	この1年間を振り返り、学生時代に力を入れたことを完成させる
16	面接でよく聞かれる質問	自己PRやガクチカ以外の質問の対策
17	後期試験期間	

備考	
----	--